

広島県鉄構工業会

事業承継セミナー開催

50人参加、新年互礼会も

広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・スアレントス社長）は24日、広島市内のホテルで事業承継セミナーと新年互礼会を開催、約50人が参加した。

セミナーでは、昨年

の顧問弁護士を務める上八丁堀法律事務所（広島市）の久保豊年弁護士と、同事務所の三保友佳弁護士が「持続可能な企業を目指して―事業承継をどう構築するか―」をテーマに講演。事業承継に

山本理事長



ついて、過去の事例も紹介しながら、早期に取り組んでおくことの大切さを伝えた。

互礼会であいさつに立った山本理事長は「昨年は激動の年とな

った。われわれの業界では急激な鋼材の価格高騰という予期せぬことが起き、皆さんも苦しむことが多かったと思う。事業承継については、当会ではうまく若返りが進んでいる印象だ。多くの業界、企業などで経営者や社員の高齢化が進む中、どんどん若手が育っている。今後もすばらしい鉄骨加工の技術を持つ

ていることを誇りに、業界の地位、知名度の向上、発展に向けた活動を活発に行っていく」と呼び掛けた。

互礼会には会員のほか、広島県や大学、関連団体などから10人の来賓も参加し、祝辞を述べた。

歓談後、島田泰実副理事長（島田鉄工所社長）の中締めで盛況のうち散会となった。